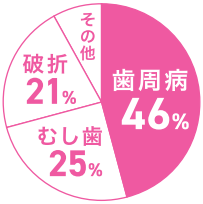
歯周病とは

免疫機能の低下、生活習慣などにより、口内フローラのバランスと歯ぐきの防御力が崩れ、歯を支える歯周組織（歯ぐきや歯槽骨など）に炎症が起こる病気です。歯周病が進行すると歯を失う原因になります。

50代からの抜歯原因



出典：公益財団法人8020推進財団調査（2018年）

歯周病予防のために

お口の中には健康な状態でも多くの細菌が生息しています。歯周病予防のためには歯周病菌の殺菌と、歯周病菌比率の少ない口内フローラ（細菌叢）を保つ事、歯周病菌に対する歯ぐきの防御力を高める事（ホストケア）が大切です。

殺菌

さいきんそう
細菌叢
コントロール

ホストケア
（歯肉ケア）

●歯周病は歯肉炎・歯周炎の総称です。

MEDICAL GARGLE
メディカルガーグル

CPC*6が浮遊菌を殺菌！
水でうすめる（希釈）タイプのうがい薬

殺菌成分
CPC
1%配合

効能・効果

口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄、口臭の除去

●抗炎症成分 GK2*7
●清涼感・口臭防止 *l*-メントール

指定医薬部外品
販売名：ピラうがい薬-P　容量：20mL/100mL

用法・用量

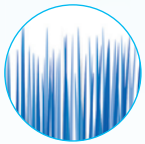
水約100mLに本品を約0.5mL（6～10滴）を滴下し、よくかき混ぜた後、うがいしてください。1日数回のご使用がおすすめです。

*6.CPC：セチルピリジニウム塩化物水和物
*7.GK2：グリチルリチン酸二カリウム

TOOTH BRUSH
ハブラシ

弱った部位をやさしくじっくり磨ける

Systema SP-T 歯ブラシ



スーパーテーパード毛
毛先拡大図

歯科用
DENT.

患者様用リーフレット
歯の定期健診を受けましょう

Systema SP-T

ライオン歯科材株式会社

LION

GEL Plus ジェルプラス

3つのアプローチで 歯周病の発症を防ぐ

歯周病リスクの高い方に

- 殺菌 IPMP*2
- 細菌叢（さいきんそう）コントロール GK2*1*3
- ホストケア（歯肉ケア） ビタミンE*4

- ●高濃度フッ化物配合 1450ppmF
- ●弱った部位をやさしくじっくりみがける 研磨剤無配合
- ●薬用成分が患部に長くとどまる 高粘性ジェル

医薬部外品　販売名：システマSP-TジェルEa

使用方法

2cmほど（大人の場合）を歯ブラシにとり、毛先が広がらない程度の軽い力で、歯と歯ぐきを小刻みな往復運動で磨いてください。ブラッシング後は少量の水で洗口してください。

GK2が口内フローラのバランスを整える（悪い菌の増殖を抑える）

CPC・IPMPのダブル殺菌とバイオフィルム形成抑制効果

DENTAL WASH デンタルウォッシュ

3つのアプローチで 歯肉炎の発症を防ぐ

歯周病リスクの高い方に　毎日の歯みがきにプラス

- ダブル殺菌 CPC+IPMP*5
- バイオフィルム形成抑制 CPC+IPMP
- 抗炎症 GK2

- ●希釈不要でそのまま使える原液タイプ
- ●低刺激・アルコール無配合
- ●ペパーミントタイプの香味

医薬部外品　販売名：システマSP-Tリキッドa　洗口液

使用方法

適量約10mL（計量カップの約半分の線）をお口に含み、20秒ほどすすいでから吐き出してください。使用後は、水ですすぐ必要はありません。

＊1.細菌叢コントロール：口内フローラに働きかけて、歯周病を予防する考え方　＊2.IPMP：イソプロピルメチルフェノール　＊3.GK2：グリチルリチン酸ジカリウム　＊4.ビタミンE：酢酸トコフェロール　＊5.CPC：塩化セチルピリジニウム　●歯周病は歯肉炎・歯周炎の総称です。　●フッ化物高濃度配合品（1450ppmF）の6才未満への使用は控え、子供の手の届かない場所に保管してください。